

令和元年度 矢上高校 学校評価

分掌による自己評価 4: 良い 3: だいたい良い 2: 少し改善すべきだ 1: 改善すべきだ 0: わからない					目標値・評価欄 A 3.0以上 B 2.9~2.5 C 2.5未満		
部署	目 標	内部評価	成 果 と 課 題	来 年 度 の 取 組 み	学校関係者評価委員会評価 (ABC)	意 見	
総1	1. 各分掌、学年会、各種委員会、矢上高校魅力化センター等との連絡調整に努め、学校行事の円滑な運営と学校の活性化を図る。	A	今年度は職員会議の時間設定で、先生方にご迷惑をおかけした。また魅力化センターとの役割分担があいまいなところがあり、手がつかなかった事業があった。	次年度の職員会議は全て6限の日に設定し、会議が重なっている日は短縮時程にした。連絡・報告事項をさらに簡素化するなど会議の在り方も検討したい。魅力化センターとの分業と協業にも取り組みたい。	A	・特色ある校訓のもと、生徒に豊かな心と人間性を養い、社会に貢献できる人間の育成ができていると思う。	
総2	2. 学校からの活発な情報発信を行い、家庭や地域の認知度を高める。	A	魅力化センターや総務部の担当の先生がHPを頻りに更新してくれ、また「矢高だより」も毎月出してくれた。「矢高だより」は邑智・大田・浜田・江津地区の中学校には1部ずつ送付したが、地域の方々や中学生の保護者には本校の情報が十分には伝わらなかった。	「矢高だより」「PTAだより」「ニュースレター」の役割をもう一度整理し、本校の情報が生徒・保護者、地域の方々、中学生とその保護者に伝わるよう検討したい。	A	・生徒が落ち着いて勉強できる環境にある。	
総3	3. 図書館の利用環境を整え、読書活動の推進を図る。	A	総務部で図書担当の先生を割り振ることはできたが、図書準備室に常駐することはできなかった。	管理職の先生とも相談しながら、図書館にも目が行き届くよう努力したい。	A	・生徒が落ち着いて勉強できる環境にある。	
教1	1. 生徒の学習意欲の向上と望ましい学習態度の実現に努める。	A	「主体的・対話的で深い学び」の実践に取り組んでいただきありがとうございます。また、昨年度に比べてICT機器の利用率がUPした。機器を利用することで授業の進捗も確保できているという意見をいただいている。	授業実践については、公開授業・研究授業を計画的に実施し学校全体に取り組みが広がるようにしたい。	A	・挨拶なども生徒の方から積極的に声をかけるので気持ちが良い。	
教2	2. 新教育課程の円滑な実施と授業力を向上させる機会の設定に努める。	A	新教育課程について、校内で大きな動きはなかった。授業力向上については教務主導で動きかけをする機会をとることができなかった。	次年度は総合的な探究の時間の内容について大きな変更をかけた。授業力については他校の取り組みに参加できる機会を設けたい。	A	・産業技術科だけでなく普通科も特色を出すなどの工夫をして、生徒募集の対策を立ててほしい。	
教3	3. 担任・学年会・校務分掌などの協働体制の確立に努める。	A	特別な働きかけを行ったわけではない。コース選択等、学年会と協力する体制を強化したい。	コース選択時の選択科目について進路希望を踏まえた選択ができるよう取り組みたい。	A	・地域住民へ可能な範囲で学校行事などの案内をし、地元の中学校に対してもこれまで以上に矢上高校の魅力をPRしてほしい。	
生1	1. 安全で安心して学べる環境づくりに努める。	A	1学期は問題行動が多発したが、分掌を越えて、多数の協力をいただき、丁寧な指導を継続することができた。その成果から、2学期以降問題行動が減少することができた。しかし、依然として生徒指導上の問題が潜在的にあるので、細かな問題を見逃さず、連携して生徒を指導したい。	特に1年生の1学期を丁寧に指導する必要がある。交通安全ルール。情報モラル教育。集団生活におけるマナー。この指導を地域との連携、講演会の依頼などをして充実させる。	A	・寄宿舎生に対して、生活面でも他にはない特色ある支援ができるように努力をしてほしい。	
生2	2. 生徒の自主的・積極的な活動を推進する。	A	学園祭から矢高祭という名称変更。さらに、バザーの内容を変更し生徒が参加し、地域と連携をした。自主的な活動としては小さな事であったが、生徒には大きな充実感があったと考えている。生徒数を考慮すると負担が大きくなるため、内容をさらに精選して自主的な活動を促したい。	自主的、積極的に活動する場として矢高祭は大切な行事となる。早い時期から計画を立てて、地域への情報発信も含めて充実した行事にする。	A	・寄宿舎生に対して、生活面でも他にはない特色ある支援ができるように努力をしてほしい。	
生3	3. 人権尊重の基本に立って、生徒同士が互いの人格を尊重しあい、高めあう意識を育てる。	A	3回の人権・同和教育の生徒の学習態度を見ても、非常に真面目に取り組んでいた。しかし、日々の行動、言動からは未熟な面が多く見受けられ、思いやりのある行動に繋がっていない。粘り強く全体指導、個人指導を継続する必要がある。	これまでの人権・同和教育の内容を精選し、講演などを取り入れて、生徒の人権感覚を磨く場を与える。	A	・部活動をしている生徒の人数を教えてほしい。やや入部率が下がっているように思うが、何か理由があるか。	
進1	1. 三年間を見通した計画的な指導を行い、進路目標を主体的に設定させる。	A	進路指導部内の各学年の担当の教員と協議しながら、進路行事を実施した。各学年の進路検討会の状況からも、担任、学年会で各学年に応じた進路指導ができたと考えている。	来年度から新テストが実施される。他校との情報の共有、行政や業者の説明会に参加することにより、新テストに関する情報を把握し、教職員、保護者へ情報提供できるようにしていきたい。	A	・魅力化事業とは何か。地域との関わりも強いので、多くの人に見てもらえるよう、わかりやすい情報発信をしてほしい。	
進2	2. 一人ひとりの希望に即したきめの細かい指導を行い、進路目標を実現させる。	A	先生方のご協力のおかげで、生徒一人一人に担当をつけて小論文・面接の指導を行うことができた。ありがとうございました。	今後も小論文・面接の指導が必要な生徒は同程度か、それ以上になると考えられる。学年やクラス全体の指導である程度完成させ、先生方の負担が軽減できるよう努めていきたい。	A	・外部コーチは週に何時間ぐらい来るのか。働き方改革でどのように変わるのか。	
進3	3. 「総合的な(探究)学習の時間」・LHRを活用し、より良い課題を発見し、解決する能力を身につけられるよう支援する。	A	上級学校の訪問、生き方講座などの行事を魅力化センターや学年会の先生方の協力で行った。並行してベネッセの進路サポートを用いながら、進路学習を行った。3年生については志望理由書や面接試験に関する学習を行った。	探究的な学習が不十分であったので、次年度以降魅力化センターや学年会の先生方と協力していきたい。	A	・野球部は今年大活躍したが、県外生の割合はどれくらいか。	
保1	1. 生徒の心身の健康状態を把握し、かつ適切迅速な対応をする。また、より快適で安全な教育環境の実現に努める。	A	身体測定や各検診をとおして、生徒一人一人が自分の身体や健康状態に関心を持ち、健康的に過ごしていけるよう手助けし、取り組んできた。また保健室に相談に来る生徒たちの悩みや心配事を聞き、常に丁寧に適切なアドバイスをするように心がけた。	可能な限り生徒一人一人の体調や健康状態に配慮する。	A	・数年前、プロジェクターが寄贈されて、授業に役立っていたが、その後の設備は整っているか。	
保2	2. 学校環境の美化に努める。	A	安全点検を実施し、事務部の協力により掃除用具の整備や修理をすることができた。また掃除時間は先生方のご協力により、生徒たちがきちんと掃除に取り組み、学校環境の美化に努めることができた。今後ともよろしく願います。	さらに学校の美化に努める。	A		
保3	3. 相談活動の充実を努める。	A	スクールカウンセラーやホットスペースの先生方と生徒や保護者、教職員が相談活動を行えるように計画的に実施することができた。限られた時間ではあるが、相談者は有意義な時間を持てているようだ。	今後も誰もが相談できる場を設け、それぞれの悩みの解決につなげていく。	A		
舎1	1. 生活の規律化による学習の充実。	A	2学期より試験期間中の学習時間には携帯電話を使用しないというルールを設け、学習ができる環境作りを行った。しかし、徹底できなかった部分があったので、次年度はきちんとできるようにしたい。また、学習習慣をつけるために学習時間に机に座ることを目指してきたが、全員には定着することができなかった。	学習時間には全員がきちんと机に座り、学習をする。	A		
舎2	2. 安全の確保と環境の整備を行う。	A	他者のことを考えて行動すること、清掃をきちんとすることを指導してきた成果がでてきた。しかし、洗濯物の管理がまだ不十分であったので指導していきたい。	他者のことを考えて行動すること、清掃をきちんとすることを引き続き指導していきながら、私物の管理をきちんとさせる。	A		
舎3	3. 舎生の健康の保持を図る。	A	生徒から要望があった食事面での改善がおこなえた。(朝食に野菜がでるようになった。)冬場に体調を崩す生徒がいたが、インフルエンザ等が全体に広がることなくよくなった。	引き続き、生徒の健康の保持ができるように、食事面や感染症対策を実施していく。	A		
産1	1. 教科指導・進路指導や人権教育の徹底を図る。	A	先生方との連携でスムーズな運営ができた。また、インターンシップや見学会等とおして生徒の興味・関心を高めることができた。	見学会をはじめ、インターンシップの充実をはかることで、農業や工業へ興味・関心を定着させ、進路意識の高揚を図りたい。	A		
産2	2. 農業クラブ活動の活性化と充実を努める。	A	今年度も全国大会で2名が優秀賞を受賞した。	産業技術科で学ぶ生徒の活躍の場にならうように努めたい。	A		
産3	3. 地域との連携を図る。	A	邑南野菜のブランド化、石見と牛プロジェクト、移動矢高ショップなど様々な場面で地域との連携や貢献活動を行った。	今後は、連携内容の精選をはかりながら、よりよい活動を展開したい。	A		
1年1	1. 基本的な生活習慣の定着。	A	4月の宿泊研修で、仲間作りとともにクラスの目標を立てることで、緊張感のある生活を送ることが出来ていたが、学校生活に慣れ始めてから少し緊張の糸が切れる場面が出てきた。	次年度は上級生として、他人を思いやる態度の育成を柱に日頃の生活指導を行ってきたい。	A		
1年2	2. 人権尊重の精神と態度の定着。	A	人権意識の向上と仲間作りについてのホームルーム活動により、仲の良いクラスづくりができた。しかし、一方でSNSでの誹謗中傷があり、課題が残った。	特にSNSの使用については、機会ある毎に何度も伝えていくことが必要。	A		
1年3	3. 自主的な学習態度の定着。	A	与えられた課題に対しては取り組めるが、自分から進んでという意識に欠けるところがある。	基礎的な学力の定着がまだ出来ていない生徒がいるので、基礎の補強と同時に成績上位者に対する添削指導を継続して行う。	A		
1年4	4. 進路目標の設定。	A	日頃の面談の中で進路についての話を繰り返し行い、個別の進路についてその目標が固まりつつある。しかし、いまだに目標の定まらない生徒もいるので、継続した指導を行いたい。	可能であれば、オープンキャンパス等に行き、自分の目で、耳で体験する中で進路目標を明確にし、進路意識を高めていきたい。	A		
2年1	1. 基本的な生活習慣の定着。	A	STEP(生活時間活用記録)を活用して、毎日の振り返りをさせ、良い生活習慣をつけるよう意識させた。欠席・遅刻等は、少なかった。スマホ等の利用時間が長すぎたり、学習の取りかかりが遅かったり、寝る時間が遅くなったりする生徒もいる。	・情報モラルについて、保護者とともによりしっかり考えていきたい。 ・家庭学習のとりかかりと寝る時間の固定を習慣付けさせたい。	A		
2年2	2. 人権尊重の精神と態度の定着。	A	学校行事・HR活動・授業等を通して、昨年より主体的・協働的に取り組むことができた。	あらゆる活動を通して、しっかり考えさせ、行動させる。	A		
2年3	3. 自主的な学習態度の定着。	A	授業態度は概ね良いが、復習が足りないため定着していない面がある。課題をすることにより、学習内容をしっかり理解したり、小テスト・課題テスト等復習の機会を十分に生かしたりし切れていない面がある。	授業を大切に、予習・復習を定着させることにより、学力をつける。	A		
2年4	4. 進路目標の具体化。	A	進路希望調査・オープンキャンパスへの参加・科目選択・面談・先生方の話を聞くこと等を通して、進路を具体的に考えるようになった生徒が多い。しかし、まだ明確に決まっていなかった生徒もいる。	進路目標を明確にし、それに向けて何が必要かを考え取り組ませる。	A		
3年1	1. 基本的な生活習慣の定着。	A	生活時間記録を活用して個々の生活習慣確立を支援できた。遅刻・欠席の数が比較的少なく過すことができた。	継続的に多くの先生方に関わってもらいながら指導を行う。	A		
3年2	2. 人権尊重の精神と態度の定着。	A	学校行事やホームルーム活動を通じてクラス内の連携を向上させることができた。	教員間で情報を共有し、自分の行動がどのような影響があるか生徒に考えさせ指導していく。	A		

3年3	3. 自主的な学習態度の定着。	A	生活時間記録を活用して個々の学習習慣確立を支援できた。成績上位者・下位者に個別指導を行うことができた。	授業の準備や取り組みを再確認させ、学習態度を向上させる。	
3年4	4. 進路目標の実現。	A	多くの先生方に教科、面接指導、小論文指導に関わっていただき、多くの生徒が進路目標を実現した。	早い段階で進路目標を明確にし、それに向けて何が必要が考え取り組ませる。	
学校運営1	1. 「重点目標」に基づいて教育活動を展開する。	A	8つの項目について、まだ不十分なところはあるが、学校全体の協力体制のおかげで、円滑に教育活動が展開できた。	全体に大雑把な印象もあるので、焦点を絞って課題を明確にし、具体的な立案と活動を行う。	A
学校運営2	2. 運営委員会、職員会議、その他各種の会議を各々適切に運営する。	A	会議は予定時間を超過した時もあったが、事前に情報を整理し、審議と連絡事項を分け、朝礼伝達等も利用し、効率化することができた。	時間短縮を意識しすぎて内容の薄いものにならないように、計画的に提案し実のある議論ができるよう運営する。	
学校運営3	3. 校内組織の編成を適切に行う。	A	異動などで3分の1近くの教職員が入れ替わり、わからないことが多く大変だったと思うが、一人ひとりの熱心な取り組みや組織を越えた協力体制で次第に校内も落ち着いてきた。	業務内容の精選や分担方法を検討し、少ない人数でも成果が上ががり、個人の負担の軽減もできるように編成と改善を行う。	
事務室1	1. 連絡、相談を通じて全職員との情報交換を密にし、必要な情報の共有に努める。	A	全職員との情報交換に努めたため、概ね必要な情報共有ができた。	今年度と同様。	A
事務室2	2. 経費の節減を図り、効果的な予算執行により教育環境の整備に努める。	A	効率的な予算執行に努めたことにより、教育環境の整備が進んだ。	今年度と同様。	
事務室3	3. 効率的な運営に向けた業務の点検に努める。	A	業務点検を行い、効率的な運営に努めた。	今年度と同様。	